

行商するときには馬を使うんです。荷馬車  
いうてな。木で大きな荷車をつくって。  
長さが2間\*2ぐらいあったかな。それ  
に馬をかけてな、ひっぱって行くん  
です。遠いところやったら、小田のほうま  
で行きよったからな。小麦は農家の人が  
おうどんにするために製粉所に持って  
くるんです。そこでまとまったものを水車  
で挽いて、挽いた粉は私らが2割分を手  
数料にもらって、残りを返してうどん玉  
にするんです。

水車小屋は川の水を引いて水車を回  
転させますが、鴨部川は水量の多い川  
だったんですか？

前山の川は、台風が来たとか大雨が  
降ってなかったら水量の少ない川です。  
水車ができるくらいの水量ではあつたけ  
どな。昔は電気がないし、水車しか動力  
がなかったけん。水車の大きさは、直  
径が3間\*くらいありました。初夏に  
なると、農家が田んぼに水を入れはじ  
めるでしょ。そうしたら川の水量も少な  
くなるんや。それで動力が足りんときは発  
動機で水車を回すんやけど、水が来ん  
ところにもってきて発動機で回すもんや  
から、水車がガラガラに乾いてしま  
うんや。

水車の材料は何ですか？

松。アブラ肥とかヒナ肥いうてな。ア  
ブラ肥は男松、ヒナ肥は女松。アブラ肥  
は伐るとべたべたするくらいヤニが出て  
くる。ヒナ肥はさらさらとしてな。こ  
ういう肥松は、どこにもあるものでは  
ないんです。粘土質の土のところに生え

コーディネーターより

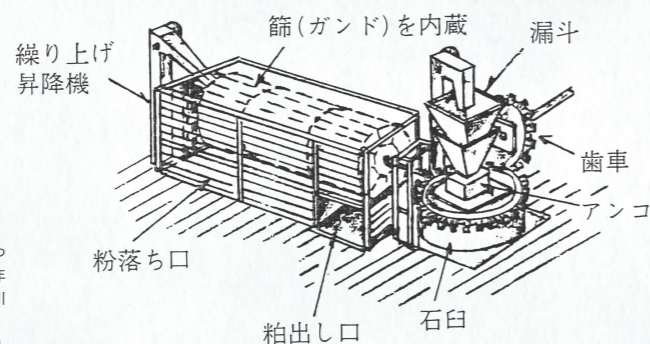
大正14年、現在のさぬき市前山中津集落に生まれた細川敏弘さん。水車製粉業・仲買業を営んでいた祖父、父のもと、水車が身近にある幼少時代を過ごしました。16歳まで家業を手伝い、17歳で徴兵。帰郷後は水車製粉業や林業に従事しましたが、昭和50年、前山ダムの完成に伴い、同地区の水車製粉業者はすべて廃業になりました。完成した前山ダムが満水になってゆくのを見届けた細川さん。集落がダムに沈む姿が今も心に強く残っていると云います。川の水を動力として活用し、自然を巧みに生かして生きていた前山の人たち。今となっては集落を見ることはできませんが、松木さん曰く、細川さんは、まさに「前山地区の生き字引。鴨部川の番人」です。



ほそかわとしひろ  
細川敏弘さん  
(大正14年生まれ・90歳)



まつき ゆき  
松木優紀さん  
(さぬき市集落支援員)



1 前山ダムの前で細川さんと 2 前山ダム公園(現在閉鎖中)に設置してある水車 3 かつて香川で使われていた製粉機の構造図 4 前山ダムに沈む前の中津集落(写真は昭和40年代)。「昔は川を遡って歩き回ってました。釣ざおかついでな。台風が来たら大水が流れて川掃除するから、ヨシガヤは全然生えなんだ」  
※3 出典:「讃岐の水車」より 4 写真出典:「ダムに沈む 香川県長尾町前山地区民俗誌」より



もう一回水車が、  
まわる姿が見たい。

鴨部川の元水車主 細川敏弘さん(さぬき市)

細川さんから受け取った言葉

細川さんのお父さんが水車を使って製粉をされてたんですか？

私は前山で生まれたけど、父はもとは塚原(さぬき市)で生活しよつたらしいです。それで私が子供の時に、前山に水車を買ってはじめてんや。水車小屋の中には、水車の動力を使って精米したり製粉する仕掛けがあつてな。白1台で3石\*1、2台で7石。当時は、夜中でも小麦を入れに起きて、夜通し粉を挽いてました。

江戸時代から戦後まで、前山地区の鴨部川沿いには9軒の水車小屋があつて、水車を利用した製粉業を生業としていたと聞きました。

水車で粉挽いてもな、前山だけでは消費できませんから、長尾とか神前に行商に出かけました。うちも多い時でいたい40軒くらい得意先がありました。

こつちのほうで車大工といえば、松村長五郎さんという人がおつてな。私が15・16歳のときだったんかな。山の木を伐りに連れて行ってもらつて。木も肥えとつたら重いです。それに防水のためにコーラルターを塗つてな。水車を組むときは、輪板を2人か3人で担いで組むんやけど、それは重かつたらうと思う。

昔は水車が1基あつたら、50石\*4分の米を育てるくらいの儲けになると言われよつたけど、それも昭和30年代くらいまでかな。だんだん輸入小麦が入ってきたからな。小麦の質が全然違うんや。輸入小麦は割ると白壁みたいに真っ白で。内地の小麦は割っても黄色い。それで、私も昭和40年の終わり頃からよその仕事に行くようになりました。

参加者の感想



前山ダムがある姿しか知らない私にとって、昔の鴨部川上流の様子や、水車を使った生業があつたことは大変な驚きでした。水車には肥松を使うこと、水車自体にコーラルターを塗らないと傷みが早くなることなどを教わりました。また、水車を作って粉にするまでに多くの人が関わり、手間暇を惜しまない暮らしをしていたことに感動しました。「前山ダム公園に水車があるけど、もう一回まわる姿が見たい」という細川さんの言葉が強く心に残りました。

\*3 3間=約5.4m \*4 50石=約7.5t

\*1 1石=150kg, 3石は450kg, 7石は850kg  
\*2 1間=約1.8m, 2間は約3.6m